

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー本八幡駅北口教室		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		2025年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年 7月 25日		2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま、保護者さまの困りごとやニーズを聞き取ることができている	家族支援やフィードバックではお子さまの様子や保護者さまの最近の悩み等を聞き取るように心がけている。	指導員の専門性を高め、より聞き取りやアドバイスの質をあげられるようにしていく。
2	ニーズに則った支援を行えている	やり方はそれぞれであるが、目標に向かった支援を考えられるよう指導員で共有や話し合いを行っている。	より指導員間での共有や話し合いを行い、専門性のある支援を考えられるようにしていく。また、指導員個人個人の臨機応変に動ける力を高めていく。
3	お子さまが楽しいと思える支援を行えている	ハビーの支援として、まずはお子さまが楽しむことができる活動を考えている。	楽しい活動の中にも療育的な視点や配慮を取り入れ、楽しみながらも成長できる機会を提供できるようさらに専門性を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	加算についての詳しい説明	目で見えてわかるような詳しい説明がご用意できていなかった。	ハビーだよりや掲示等で加算についての詳しい説明を用意する。また、職員一人ひとりが詳しい説明をできるよう周知する。
2	ニーズに合った集団枠の提供	異年齢や学校を想定した集団で活動を考えていたが、その環境が合わないお子さまもいらっしゃることを配慮できていなかった。	枠についてはこちらからのご提案や保護者様からのご要望をすり合わせて、適切な枠に入ることができるようにしていく。
3	指導員間の共有	共有したことを全員が把握し行えるような環境が十分でなかった。	指導員全員が共有したことを目で見えて行うことができる環境づくりを行っていく。